

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成26年12月13日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670104365
法人名	有限会社 ベストケアライフ
事業所名	グループホーム かわかみ
所在地	鹿児島県鹿児島市川上町1854番地1 (電話) 099-243-7735
自己評価作成日	平成26年11月1日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成26年12月3日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

- ・自然に囲まれた環境の中で、入居者がその人らしく生活していけるように支援している。
- ・毎日のレクリエーション、外食、ドライブ、家族参加型の食事会などでコミュニケーションを大切にしている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当事業所は木造平屋建てで事務室を挟んで左右対称の2ユニットである。中庭側の居室やリビングは掃き出し窓になっており、日常的に中庭で散歩を楽しんでいる。
- ・中庭は利用者の安全を確保するための避難経路として、運営推進会議での意見を活かしフェンスから隣家の畑へ抜けられるよう改善されている。
- ・利用者は日常的に散歩や買い物に出かけ、地域住民と挨拶を交わしている。
- ・管理者や職員は、個々の利用者の生活歴や生活環境などを把握し、外出を計画したり馴染みの友人知人や場との継続的関係が途切れないよう支援している。
- ・新聞購読などを見守り、力量に応じてその人らしい張り合いや喜びのある生活を過ごせるように支援している。
- ・口腔ケアや身体拘束廃止についても、職員研修を行い取り組んでいる。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	<p>○理念の共有と実践</p> <p>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている</p>	<p>・事務所内に理念、気配り目配り感謝の心を掲示してあり、朝礼の時復唱して確認している</p>	<p>開設時に職員で作った理念を見直しをして目標を追加している。事業所内に掲示し、パンフレットにも掲載している。朝礼で唱和し、職員会議等の機会に振り返り、理念をケアの基本として実践している。</p>	
2	2	<p>○事業所と地域とのつきあい</p> <p>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している</p>	<p>・町内会へ加入しており、ホームの行事にも参加をお願いしている</p>	<p>町内会に加入し、町内会の会合に参加したり回覧板等で地域と情報のやり取りをしている。地域の行事や清掃活動にも積極的に参加し、散歩や買い物の際には挨拶や会話を交わしている。サマーボランティアで学生の受け入れを実施し、保育園児や児童との交流・中学生の職場体験学習の受け入れなども行い地域との交流に努めている。</p>	
3		<p>○事業所の力を生かした地域貢献</p> <p>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。</p>	<p>・町内会へ加入し、事業所のことを理解してもらう。ご近所の方とあいさつ交換する</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>・町内会代表の方、家族代表、ホーム職員が参加して、会議で意見交換を行っている</p>	<p>会議は定期的開催され、事業所の現況や状況報告、外部評価の結果報告等を行い、意見交換を行っている。出された意見で、災害時の安全な避難について中庭からの避難路の提案を検討する等、サービス向上に活かしている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>・市町村の担当者とも連絡を取り合い、事業所を理解していただけるような交流をしている</p>	<p>市の担当者とは事業所の実情やサービスの取り組みを報告し相談をしてアドバイスを貰っている。介護相談員も受け入れ、報告や助言をサービス向上に活かしている。福祉担当者とは細かに連絡し合っている。地域包括支援センター職員とは運営推進会議を通して、利用者の情報交換等、連携を取り協力関係ができています。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>・毎月の職員会議を行い、身体拘束しないケアを確認し合っている</p>	<p>毎月の職員会議で外部研修等の報告を行ったり、言葉による拘束についても不適切な言葉かけは、気付いた時にユニットリーダーから注意したり、職員会議で話し合い職員全体の意識を高めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。昼間の玄関は施錠せずに、職員の連携プレーで安全な暮らしを支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>・毎日のケアの中で虐待ではないか?と思ったら、職員間での話をして防止に努めている</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>・職員会議の時意見交換し、それを活用できるように支援している</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>・管理者が説明行を行い、理解、納得を図っている</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>・家族会や運営推進会議設け、意見・要望を聞き運営に反映させている</p>	<p>利用者からは日々の関わりの中で思いを聞いている。利用者とは年1回介護相談員と話す機会を設けて希望や思いを聞き、反映している。家族からは面会時や行事参加時・家族会・運営推進会議時などに意見や要望を出してもらおう工夫をしている。出された事項は職員で話し合い対応している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>・職員会議やユニット別の会議等で意見交換をしている</p>	<p>管理者や各ユニットリーダーは日頃から職員とのコミュニケーションを図ったり、申し送りやミーティング時に職員の意見等を聞いている。毎月2ユニット合同の職員会議で職員の意見を聞く機会も設けている。職員の提案により、複数介助等に対応するため入浴時間の変更を行う等、改善している。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>・管理者、職員個々の努力実績把握し、給与水準ややりがい等働きやすい職場環境に努めている</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>・職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、研修会に参加させたり、現場での講習会を開いたりして職員を育てる取り組みをしている</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>・グループホーム協議会での研修会や施設の勉強会に参加したりして交流を図っている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>・本人の話をよく聞き、不安を少なくするために、出来ることの支援をしている</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>・家族の話をよく聞いて、希望、要望等に近づけるよう努力している</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>・事前に家族、本人に施設の見学してもらい、必要とする支援の対応に努めている</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>・できることは一緒に行うなど、手伝いをお願いしている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>・家族の負担にならないように配慮しながら、家族が出来る支援も勧めている</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>・今までの生活環境などを聞き、何を大切にしてきたかを把握して支援するよう心がけている</p>	<p>本人や家族からの情報をもとに、友人・知人の訪問を奨励し、電話や手紙の取次ぎも行っている。行きつけの理容所や買い物店に気軽に通えるように継続的關係が途切れないよう働きかけている。家族の協力で一時帰宅や美容院等の外出等の支援を行っている。</p>	
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>・入居者同士が仲良く過ごせるよう、状況に応じて声掛けをしたり間に入ったりしている</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>・いつでも遊びに来たり相談に来れるように努めている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	・日常の会話を通じ本人の願望を聞き出しケアマネや職員と相談検討し、本人の希望に添えるよう努めている	利用者の言葉や表情などから思いや意向の把握に努めている。意思疎通が困難な場合は家族や友人・知人からの情報で思いの把握に努め、記録し職員全体で共有している。その人らしい生活ができるように本人中心に支援を行っている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	・日常的な会話の中で今までの生活状況や家族との暮らし方を聞き出し、把握するよう努めている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	・朝礼の申し送りやケア記録、会議などで現状の把握に努めている		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	・職員会議やユニット別の会議、日々のケアミーティング等で意見交換を行い、本人がよりよく暮らしていけるように検討している	本人や家族の意見や思いを汲み取った上で、関係者や職員で話し合い、個々に応じた介護計画を作成している。毎月モニタリングを実施し、6ヶ月毎に見直している。状況が変化した時は、現状に即した介護計画を作成している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	・個人別のケア記録を作成し日々の状態を記入することで、変化があった場合など職員間での情報を共有できるようにしている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	・本人の要望を聞き、出来るだけ柔軟に対応できるように取り組んでいる		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	・地域の方々との交流（ボランティア、保育園児との交流、棒踊り）や支援を受けて豊かな暮らしを楽しめるようにしている		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	・協力医、かかりつけ医等と普段から連絡を取り合い、必要に応じてスムーズに受診できるように支援している	本人や家族の希望するかかりつけ医の受診を支援している。定期的な受診や通院介助を行い、受診結果は家族と事業所が共有している。協力医療機関の訪問診療や必要に応じて、歯科医の往診もある。緊急時の対応などに連携を取りながら適切な医療を受けられるように努めている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとれた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>・普段の状態を観察し、気になる点等を相談して必要に応じて受診につなげるようにしている</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>・病院と連絡を取り合い、情報交換を行っている</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>・本人、家族の望まれる一番良い方法に向け、ホームでできる事などについて話し合いをしている</p>	<p>契約時に、重度化や終末期に際して事業所が取り得る対応を本人や家族に説明している。経口摂取ができなくなった時点で医師の指示を受け再度説明し、家族と話し合いを重ね確認しながら意向に沿って支援している。看取りの事例がある。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>・医療講習会や勉強会など協力して下さる医療機関のもと定期的に行っている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>・施設内や町内会の防災訓練に参加をするとともに、近隣の方とも声かけしている</p>	<p>年2回消防署立会いのもと、昼夜間想定避難訓練や消火訓練を実施している。スプリンクラーや自動通報装置の整備もされている。地域の防災活動にも参加しており、避難経路等で地域の協力も得、住民との協力体制もできている。非常用の水や食料の備蓄もされている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>・丁寧な呼び掛けを心掛け、人格を尊重できるように気を配っている</p>	<p>定期的に勉強会を行って、職員の資質向上に取り組んでいる。日々の関わりの中で、人格やプライバシーを損ねず、人としての尊厳を保てる言葉かけや対応に留意している。基本的に苗字はさん付けで呼んでいる。特に羞恥心に対する配慮を行っている。個人記録等の取扱いは事務室に適切に保管し個人情報保護に細心の注意をしている。</p>	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>・入居者の希望に応じて満足のいくよう対応し、また、入居者が判断しやすいような声掛け等を行っている</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>・遊学の時間などの歌、クラシックの曲、CDを聞いたり希望に応じて支援している</p>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</p>	<p>・定期的に散髪があり、また毎月のレクリエーションの中で美顔マッサージや手のケアなど行っている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>・食事前のテーブル拭き、お膳の並べ、食器拭きなど、入居者の負担にならない程度に参加をお願いしている</p>	<p>利用者の嗜好に配慮した献立を工夫している。職員と一緒におやつ作りをしたり食事の準備や後片づけを行ったりしている。誕生会や季節の行事食などで食事が楽しみなものになるように工夫している。外食も取り入れるほか代替品の用意もあり、利用者に食事を楽しんでもらえるよう工夫している。</p>	
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>・水分はできるだけ摂取できるよう個人に合わせた物を準備して声掛けし、合わせて水分量のチェックをしている</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>・声掛けや介助など入居者それぞれに合わせた口腔ケア、義歯の洗浄などのケアに努めている</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>・排泄については、入居者一人ひとりの状態に合わせた声掛けや誘導を行い、日中はできるだけトイレ排泄が出来るようにも心掛けている</p>	<p>一人ひとりの排泄パターンや習慣を活かして、利用者に合わせて声かけや誘導でトイレでの排泄を継続できるように支援している。羞恥心に対する配慮をしている。歩行困難な場合はポータブルトイレを利用するなど、一人ひとりに応じた無理のない支援を行っている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	・入居者の状態に合わせて野菜を多めに、おやつにはヨーグルト等、生野菜、温野菜、サラダ、薬に頼らないよう日頃予防に努めている		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	・入浴日は決まっているものの、バイタルサインや体調を見ながら個人個人に応じた入浴の支援をしている	入浴は基本的に週3回であるが、個々人の体調や希望に添った入浴で、職員と会話をしながら入浴を楽しめるように支援している。必要に応じて足浴やシャワー・清拭などの対応もしている。入浴をいやがる利用者には職員間で連携して、時間をずらしたり職員を変えて声かけしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	・それぞれのペースに合わせて昼寝や休憩が出来るように声かけなどを行っている		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	・誤薬がないように、準備段階から服薬時まで再三のチェックを行っている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	・遊学時間に体操や歌、日曜日にはおやつ作りをするなど気分転換の支援をするとともに、自分のペースで過ごせる様にも支援している		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	・季節に合わせて外食や花見等の行事を行っている。個々の外出の支援は家族の協力が必要なこともある	日常的に利用者は思い思いに中庭の散歩をしたり、少人数のグループで外出を定期的実施している。茶話会・買い物・理美容院の利用・菓子店でのコーヒータム・ドライブ等、戸外に出かけられるよう支援している。家族の協力で外食や一時帰宅・墓参にも出かけている。外出の機会を多くするように取り組んでいる。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	・入居者自身が所持したり、事務所で預かることにより、本人が使いたい時に使える様にも支援している		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	・本人の要望に応じて手紙を書いたり、電話を自由にかけてられるようになっている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>・毎日掃除を行い、ホールには季節の花、飾り物を貼ったり置いたりしている</p>	<p>共用空間は天井が高く、換気や採光・温度・湿度に配慮し加湿器等がある。事務室を挟んで2ユニットが左右対称になっており、行事の際には合同で行っている。和室の談話室がある。対面キッチンのあるリビングは中庭に面して明るく、掃き出し窓からテラスや中庭へ出られ開放的な造りである。壁には利用者の作品等が飾ってある。ソファも多く、居心地よく過ごせるような工夫がしてある。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>・ホール、廊下においてあるソファのところで入居者同士テレビを見たり会話をしたりしている</p>	/	/
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>・本人の使い慣れた机や椅子など使いやすいように配置して、過ごしやすい場所になるよう工夫をしている</p>	<p>居室は掃き出し窓で、ベッドや洗面化粧台・クローゼットは備え付けである。トイレが設置されている部屋もある。家族と相談しながら、テレビや時計・ラジオ・椅子・タンス・写真など、馴染のものが持ち込まれ、安心して過ごせるような工夫がされている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>・自室やトイレの場所などを掲示することにより、安心して生活できるようにしている</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない